

岡山中央南（旧深柢）小学校跡地活用方針（素案）に係る 意見募集（パブリックコメント）の結果について

1. 意見募集の概要

（1）募集期間

平成23年3月22日（火）から平成23年4月21日（木）まで

（2）周知方法

市ホームページ、市民のひろば、配付・閲覧（企画局、情報公開室、各区役所、各支所・地域センター、天満屋地下街市民サービスコーナー）、報道機関への情報提供

（3）提出方法

ホームページ上からの入力、電子メール、ファクシミリ、郵送または持参

2. 意見募集の結果

（1）提出状況 621件（509名）

（2）ご意見の内訳

1. 活用方針全体に関すること	39件
2. 跡地活用の基本的な方針に関すること	468件
（1）地域医療機関の存続及び機能強化に関すること	381件
（2）教育施設（小学校・公民館）としての活用に関すること	31件
（3）防災機能に関すること	39件
（4）跡地活用の視点に関すること	8件
（5）その他	9件
3. 跡地活用にあたっての基本条件等に関すること	73件
（1）導入機能に関すること	49件
（2）土地の利用条件に関すること	13件
（3）周辺地域環境への配慮に関すること	11件
4. その他	41件

(3) ご意見の概要と本市の考え方

No.	意見の概要	件数	本市の考え方
1. 活用方針全体に関すること 39件			
1	素案に賛成。	30	<p>跡地活用にあたっては、中心市街地活性化の視点、防災上の視点、市民の安心した生活を支える視点などの10項目の視点から、地域医療機関の存続及び機能強化のため、また、地域住民の安全安心のために、防災機能および地域コミュニティの貢献も配慮することを基本と考えています。</p> <p>市としては、この基本方針に沿って、跡地活用を進めていきたいと考えています。</p> <p>今回の跡地活用方針(素案)については、跡地活用の基本的な方針を示しているものであり、学校法人川崎学園が利用することを前提としたものではありません。</p> <p>岡山中央南小学校が平成17年3月に閉校されて以来、市として慎重に検討を進めてきましたが、平成22年12月に跡地への川崎病院誘致関連の陳情が市議会にて採択された経緯も踏まえ、市当局としては早急に活用方針を決め、事業化を図っていくべきと考えています。</p> <p>防災対策については、行政のみならず、市民、民間事業者の協力も得ることを想定した計画を考えていく必要があります。</p> <p>当跡地を含む中心部の防災対策の考え方については、現在被害想定の見直しを行っている岡山市地域防災計画の中で、本市全体の防災計画を政府の中央防災会議が行う地震・津波対策の抜本的な見直しも参考にしながら、検討を進めたいと考えています。</p> <p>跡地活用にあたっては、防災機能の貢献も基本条件の一つと考えています。</p>
2	素案に反対。	1	
3	なぜ、素案作成前に、もっと幅広く市民の意見を聞かなかったのか。地元住民の切実な声を最優先に尊重し、都心部の活性化と住民の安全に配慮した活用策を求める。	1	
4	跡地を有効に使うべき。	1	
5	深祇地区連合町内会は、跡地を災害時の避難場所として確保するほか、深祇小学校の復活や公民館の新設などの活用策を再々陳情してきたそうだが、市の素案は、川崎病院ありきの印象がある。	4	
6	もっと慎重に考えるべき。	1	
7	地域防災計画を再検討し、素案の内容を見直すべき。	1	
2. 跡地活用の基本的な方針に関すること 468件			
(1) 地域医療機関の存続及び機能強化に関すること 381件			
1	中心部に病院は必要。跡地は病院(川崎病院含む)に活用してもらおうべき。	305	<p>跡地活用にあたっては、中心市街地活性化の視点、防災上の視点、市民の安心した生活を支える視点などの10項目の視点から、地域医療機関の存続及び機能強化のため、また、地域住民の安全安心のために、防災機能および地域コミュニティの貢献も配慮することを基本と考えています。</p> <p>市としては、この基本方針に沿って、跡地活用を進めていきたいと考えています。</p>
2	今回の震災で、耐震構造の必要性を感じた。中心部に防災機能をそなえた病院(川崎病院含む)が1日も早くできてほしい。	27	
3	高齢化が進んでおり、中心部に総合病院があると心強いことから、跡地に病院(川崎病院含む)に来てほしい。	19	
4	中心部の病院が郊外へ移転するなか、中心市街地を活性化するためにも、病院(川崎病院含む)に残ってほしい。	15	
5	小児の救急を受け入れてくれる病院は少ない中、跡地に病院(川崎病院含む)に移転してほしい。	14	
6	学生たちの学びの場としても、医療、福祉の充実を目指すことはとても良いこと。	1	
(2) 教育施設(小学校、公民館)としての活用に関すること 31件			
1	地区に住む子供達も増えてきており、中央小学校は1クラス40人を超えてもクラス数を増やせず、運動場の1人当たりの面積も狭く、窮屈な状態。また、学区が広く、小学校まで通うことは時間的にも安全性からも不合理。跡地に再度小学校を作ってほしい。災害時には、避難所としても活用できる。	22	<p>近年の中心市街地へのマンション建設により中心市街地への定住人口が微増していますが、そのような状況も把握した中で、市としては、全国的な少子化の傾向も視野に入れながら、将来的にも現在の中央小学校で対応可能と考えています。</p> <p>また、中央小学校は中心市街地の限られた敷地の中にあることから、他の小学校に比較して敷地面積が狭いという状況ですが、最大限工夫しながら学校運営を行っています。</p>
2	跡地は小学校予定地として残し、現在の校舎、体育館を体力増進の場等として活用すべき。広い避難場所も必要。	1	
3	低学年だけでも学校として活用できないか。	1	
4	旧丸の内中学校区は公民館がない。公民館を設置してほしい。また、災害時は避難場所として活用すべき。	4	<p>岡山中央中学校区(旧丸の内中学校区を含む)には旭公民館があり、新たな地区公民館の整備は予定していません。</p> <p>また、中央公民館は、現状のままと考えています。</p>
5	地域コミュニティに貢献するように活用するのであれば、中央公民館を移転して活用するののも一つの方法だが、どう考えるか。	2	
6	川崎病院の移転と公民館の建設を希望。	1	

No.	意見の概要	件数	本市の考え方
(3)防災機能に関すること 39件			
1	「岡山市地理情報システム避難圏域分析調査結果」によると中心部の収容可能率は2.6%と低い。跡地を川崎病院に貸すのではなく、深砥地区民の避難場所として確保すべき。	20	中心市街地には多くの居住者、来街者がおり、大規模災害時に全ての方を公共施設に収容することは難しいと考えています。 このため、中心部における一時避難地、避難所については、公共施設のみならず、民間の施設や敷地についても防災協定の締結などにより、協力をいただきながら、その確保に努めていきたいと考えています。 また、民間施設を含む建築物については、現在の耐震基準に基づいた建築物へ変えていくことにより、都市全体として防災に強いまちづくりを進めていくことも重要と考えています。
2	学区に住んでいる人すべてが避難できる場所を確保すべき。	2	跡地活用にあたっては、防災機能の貢献も基本条件の一つと考えています。
3	大災害が岡山市を襲ったとき、避難場所が十分ではなく多数の犠牲者がでた場合、市は責任を負う覚悟があるのか。	1	
4	避難場所を確保し、危機管理の体制を改めるべき。	1	
5	平成23年2月7日に、深砥地区連合町内会から陳情された陳情書の「避難場所の確保」についての検討結果が届いていない。どうなっているのか心配。	1	
6	病院は病人優先のため、避難場所にはならない。	3	
7	跡地は学区に住んでいる人が避難できるよう病院よりも学校がよい。	3	
8	避難場所としてはもちろん、水や配給の場所としても必要。	1	
9	防災センターを中心部に設置してほしい。	1	
10	災害時には避難場所となる体育館や広場が必要。	1	
11	災害のことを考えているとは思えない。	1	
12	岡山も今回の震災は例外ではないため、「災害時避難場所の確保」という趣旨に同感。	1	
13	中心部に避難するための場所が必要。	1	
14	災害時の避難場所や市民の憩いの場などで利用できればよい。川崎病院の移転先の利用も考えられるが、市民全体の利用を第一に考えてもらいたい。病院として利用するのであれば、超高層ビルにしてはどうか。	1	
15	駐車スペースは地下にいくらでもつくれ建物は上へ伸ばせる。	1	
(4)跡地活用の視点に関すること 8件			
1	個人病院が市の土地を利用することはとんでもない。	3	当該跡地は中心市街地における貴重な、市民共通の財産であり、将来的に本市がコントロールする必要があることから、売却はせず、借地とすることが望ましいと考えています。 また、活用にあたっては、市民負担の軽減から、民間事業者の活用も視野に入れていきます。
2	跡地は戦後、小学校設立のために地元地権者が提供されたもの。私的企業体に貸与することは、適切ではない。	1	
3	財政難の解消のためなら競売にすべき。	1	
4	病院事業者が行なうため、市民の負担が軽減される。	1	
5	今まであった病院が移動して建て替えられるだけに、なぜ活性化されるのか。	2	
			学校法人川崎学園から提出された「新病院の考え方(案)」では1日あたり4000人の病院への出入りを予想し経済的な波及効果が見込まれるとともに、大学附属の教育病院として医師、看護師等の医療関係職種の研究・実習の受け入れを行なうため、多くの若者が集まることで中心部の活性化が期待できると記述されており、このような施設が整備されれば、市としても、一定の活性化が見込まれると考えます。
(5)その他 9件			
1	森林(自然)公園として整備してほしい。	2	跡地活用にあたっては、地域医療機関の存続及び機能強化のため、また、地域住民の安全安心のために、防災機能および地域コミュニティへの貢献も配慮する方向で活用することを基本と考えています。
2	今の施設を活用し、公民館、生涯学習の場や岡山の物産品を販売する市場とすべき。	2	
3	今ある建物を活用し、市の運営する介護施設を希望。	1	
4	市民農園と自然エネルギーのモデルとして活用すべき。	1	
5	芸術文化団体は多数あるが、練習場の確保が困難。楽器等の練習場として定期的に利用できる、安くて使いやすい200人程度が入れる施設を整備してほしい。	1	
6	川崎病院ができれば、利用人口が増え、住民も増え、中央小学校の教室やコミュニティの場が不足していくのではないか。病院も必要だが、学校、コミュニティの場も先手で進めるべき。	1	
7	活用せず、そのままにしておくのがよい。	1	

No.	意見の概要	件数	本市の考え方
3. 跡地活用にあたっての基本条件等に関すること 73件			
(1) 導入機能に関すること 49件			
安全安心なまちづくりへの貢献に関すること 22件			
1	デイサービス等を行なう高齢者を対象とした施設を設けてほしい。	8	跡地活用にあたっては、安全安心なまちづくりへの貢献から、住民・市民の安全安心な生活を支えるため、地域医療を担う機関として地域に貢献することを基本条件の一つと考えています。 具体的整備内容は、今後、事業者が決定した後、具体的整備計画が決まっていく中で明確になると考えますが、いただいたご意見も参考にしながら整備内容について事業者と協議を行っていききたいと考えています。
2	全ての診療科がそろった総合病院としてほしい。	4	
3	リハビリテーション等の充実を図ってほしい。	3	
4	ヘリの発着スペースを屋上に設けてはどうか。	2	
5	地域住民の安全のための防災機能、コミュニティ等に配慮してほしい。	1	
6	高齢者の運動指導ができる団体との連携など、各種NPO、地域組織と連携した活用をしてほしい。	1	
7	病院、保育園、幼稚園、老人施設、学童保育と一体された総合施設ができれば良い。	1	
8	高齢者を街へ集めるような工夫をし効率のよい高齢者福祉、介護、医療を提供してほしい。	1	
9	高齢者専門の医療施設を併設してほしい。	1	
中心市街地の活性化への貢献に関すること 3件			
1	単なる病院ではなく、都心部という立地を生かしたまちの情報発信機能を兼ね備えるなど、市民のアイデアを盛り込んだ施設として都心部の活性化に結び付けてほしい。	1	跡地活用にあたっては、中心市街地の活性化への貢献から、集客力により地域の活性化に貢献し、中心市街地の健康・医療・福祉の一翼を担うことを基本条件の一つと考えています。 具体的整備内容は、今後、事業者が決定した後、具体的整備計画が決まっていく中で明確になると考えますが、いただいたご意見も参考にしながら整備内容について事業者と協議を行っていききたいと考えています。
2	建物の入口から商店街や歓楽街へ回遊できる人の流れをつくれないうか。	1	
3	川崎病院には地域の活性化に協力してほしい。	1	
防災機能への貢献に関すること 13件			
1	屋根も座るところもないため、運動場を一次避難所にするに反対。全部利用してもらい病院の思い通りにやってもらっては。	2	跡地活用にあたっては、防災機能への貢献から、一時避難の場所とするため、グラウンド相当部分については、空地として地上部分に構造物を設けることなく、また、現在の校舎・体育館等建築物が設置されている範囲については、建築物を設けることは可能と考えており、その建築物は災害にも耐えうるものとし、災害時には地域住民の避難にも貢献できることも基本条件の一つと考えています。 具体的整備内容は、今後、事業者が決定した後、具体的整備計画が決まっていく中で明確になると考えますが、いただいたご意見も参考にしながら整備内容について事業者と協議を行っていききたいと考えています。
2	8ページ (イ)については「原則として」を入れ、「グラウンド相当部分は原則として空地として確保し」とすべき。	1	
3	半分は病院とし、残りを空地のままにすべき。空地には車両等を入れないほうがよい。	1	
4	災害時医療の応援と避難場所を確保してほしい。	1	
5	避難場所をできるだけ広く設けてほしい。	1	
6	避難場所は旭川の氾濫に対して高さが必要。	1	
7	災害時の土地の安全をしっかり考慮してほしい。どこまで機能の充実を図るのか。	1	
8	水害時に屋上へ避難できるようにしてほしい。	1	
9	病院のロビー等を、一時的避難所として利用できればよい。	1	
10	食料や水、医療品の備蓄スペースとして地下を活用できないか。	1	
11	災害時の避難場所として使用できるようにコミュニティハウスを設けてほしい。	1	
12	災害時に利用できる市営駐車場は整備できないか。	1	
ユニバーサルデザインの導入に関すること 4件			
1	高齢化に対応できる設備としてほしい。	1	跡地活用にあたっては、子どもや高齢者等に配慮し、ユニバーサルデザインの考え方を導入した施設整備を行うことを基本条件の一つと考えています。 具体的整備内容は、今後、事業者が決定した後、具体的整備計画が決まっていく中で明確になると考えますが、いただいたご意見も参考にしながら整備内容について事業者と協議を行っていききたいと考えています。 今回の素案は跡地の活用方針を示したものであり、事業者及び施設の具体的内容については、今後事業者が決定した後に明らかになると考えています。
2	明るくゆったりと憩える病院づくりをしてほしい。	1	
3	跡地の南西隅にある公衆便所は、障害者用も備えた新しいものに替えてほしい。	1	
4	建物に対するユニバーサルデザインがどのように展開されるか楽しみ。計画の概要を見たい。	1	

No.	意見の概要	件数	本市の考え方
地域コミュニティへの貢献に関すること 7件			
1	ふれあいセンターを1フロア設けてほしい。	3	跡地活用にあたっては、地域コミュニティへの貢献から、地域にも開かれたコミュニティ施設の整備や、現在のグラウンド相当部分は、市民に開かれた空間として整備することを基本条件の一つと考えています。 また、活用にあたっては、市民負担の軽減から、民間事業者の活用も視野に入れていきます。 なお、市長は「学校跡地は貴重であり、乱開発することにはよくない」旨の発言をしていますが、「民間には売らない、貸さない」旨の発言はしていません。
2	コミュニティ施設は、スポーツ、音楽、集会等ができる広い施設にしてほしい。	1	
3	多目的ホールを地域の人に開放して欲しい。	1	
4	コミュニティーは市が出資すべき。	1	
5	一角に子供達の遊び場があればよい。	1	
(2)土地の利用条件に関すること 13件			
土地の所有権に関すること 4件			
1	平成21年7月、市長は「旧深砥小学校跡地は市の貴重な財産であり、民間には売らない、貸さない、出石小学校の二の舞にはしない」と約束した。	2	当該跡地は中心市街地における貴重な、市民共通の財産であり、将来的に本市がコントロールする必要があることから、売却はせず、借地とすることが望ましいと考えています。 また、活用にあたっては、市民負担の軽減から、民間事業者の活用も視野に入れていきます。 なお、市長は「学校跡地は貴重であり、乱開発することにはよくない」旨の発言をしていますが、「民間には売らない、貸さない」旨の発言はしていません。
2	グラウンド部分を市有地として残すべき。	1	当該跡地は中心市街地における貴重な市民共通の財産であり、将来的に本市がコントロールする必要があることから、売却はせず、借地とすることが望ましいと考えています。
3	中心部の場所なので売却は反対。	1	また、活用にあたっては、市民負担の軽減から、民間事業者の活用も視野に入れていきます。
借地条件等に関すること 9件			
1	跡地を南北に分割し東西に通行可能な道路を設ける。	2	跡地における具体の整備内容は、今後、事業者が決定した後、具体の整備計画が決まっていく中で明確になると考えますが、いただいたご意見も参考にしながら整備内容について事業者と協議を行っていきたくと考えています。
2	通院する患者さんのために、駐車場は大切な施設。設置に配慮してほしい。	1	
3	駐車場は地下とすべき。料金を高くすると失敗する。	1	
4	緑を配置するよう検討してほしい。	1	
5	グラウンドは緑を残した公園にしてほしい。	1	
6	グラウンドは防災公園にしてほしい。	1	
7	都市機能に必要な社会基盤であり、市は利用条件の緩和や賃料等に配慮が必要。	1	
8	適正な賃料設定をすべき。	1	
(3)周辺地域環境への配慮に関すること 11件			
1	交通量の増加が予想されるので、信号機の増設や歩道の確保など、歩行者の安全等に十分配慮した対策を行なうべき。	5	跡地における具体の整備内容は、今後、事業者が決定した後、具体の整備計画が決まっていく中で明確になると考えますが、交通対策をはじめとする周辺地域への影響については、事業者や関係機関、地域住民の方と協議を行いながら進めていきたくと考えています。
2	どんな天候気候でも安全に、しかも最短距離で病院へ入れるように考えてほしい。重病の方・車椅子・足の不自由な方へ特に配慮してほしい。	2	
3	駅西口のような車両の出入りが人の歩きを妨げないものにできないか。	1	
4	跡地の隣りには保育園があり、道も狭く危険で病院を作る条件ではない。	1	
5	円、曲線、色彩などほっとさせる建物設備とできないか。	1	
6	病院へのアクセス道路は複数確保するなど「岡山市の都市計画の一部」として立案しておくべき。	1	
4. その他 41件			
1	コミュニティハウスを建て替えてほしい。	3	当市では、おおむね小学校区を単位とした地域活動の拠点としてコミュニティハウスを整備しています。コミュニティハウスの整備状況等については、未整備地域のコミュニティハウスの建設と並行して、老朽化した施設の機能維持のための大規模修繕を実施している段階であり、現時点では深砥コミュニティハウスの建て替えの計画はありません。

No.	意見の概要	件数	本市の考え方
2	市民病院の移転場所として、この跡地をなぜ検討しなかったのか。	3	新しい市民病院の立地場所については、他の医療機関との連携可能性、特に岡山大学医学部との連携・アクセス性、市内各地からのアクセスの容易さ、早期整備の可能性、そして、市有地の有効利用等の観点から、現地(天瀬)、鹿田町、北長瀬(操車場跡地)の3か所を比較検討し、北長瀬への立地を決めています。 旧深紙小学校跡地については、私立の総合病院が近接しており、道義的観点から、候補地とすべきでないと考えたものです。
3	私立病院に貸すことは他の私立病院に対して不公平なため、川崎病院は今ある場所に改築すべき。	3	跡地活用にあたっては、市民負担の軽減から、民間事業者の活用も視野に入れていますが、現時点で、その事業者として学校法人川崎学園に決定しているものではありません。 学校法人川崎学園からは、平成22年12月に当該跡地を新病院建設のために利用したいとの要望書を受けており、諸事情から現在地での建て替えは不可能と判断したと聞いています。
4	市民病院が移転した跡地に、川崎病院が移転すればよい。	1	市民病院については、新たな医療機関として平成27年度に北長瀬(操車場跡地)に立地する予定となっています。 学校法人川崎学園から提出された要望書では、病院の施設・設備の老朽化・狭隘化が進行しており、現状のままでは近い将来、病院としての機能が果たせなくなることから、現在検討を行っている新病院については、当該跡地を候補地とされています。
5	川崎病院は学校法人となり、文科省の許可を取れば新築した病院は、不動産取得税、登録免許税、固定資産税、都市計画税等が免除される。一般市民は高額な税金を支払わされ不公平ではないか。	2	市民や事業者等への各種課税については、地方税法などの法律の規定にそって課税されるものです。
6	なぜ随意契約的な手法をとるのか。用地を貸すのであれば、多くの希望者がいるがそれをさえぎる理由が不明確である。	2	今回の素案は跡地の活用方針を示したものであり、事業者を決定したものではありません。
7	市議会で議決されたものは尊重すべき。	2	平成22年12月に、跡地への川崎病院誘致関連の陳情が市議会で採択されたことについては、市当局としても重く受け止めており、こうしたことも踏まえた中で、今回の跡地活用方針(素案)を作成したものです。
8	考え方が二分している今、議会で可決したからといって行政が進んでいくことは許さない。	1	
9	新病院を核として周辺の再開発もお願いしたい。	2	中心市街地のまちづくりについては、本市の重要政策であり、いただいたご意見も参考にしながら、引き続き交通政策、活性化政策などを進めていきたいと考えています。
10	市長が市民説明会などに出席し、中心地の未来構想について話してほしい。	1	
11	何ができるにせよ、それを生かしたまちづくりをどうするかを示して欲しい。市民病院跡地を含め、全体の展望、計画がわからない。病院と周辺の施設の動線をどう考えるのか。病院は必要だが、それで人が集まるだろうということではいけない。	1	
12	歩行困難な者でも中心部の医療機関へ簡単にアクセスできるよう、総合的な公共交通網の整備を行ってほしい。	1	
13	市と病院と地区住民の代表が度々会合を開きすばらしい病院をつくってほしい。	1	今回の素案は跡地の活用方針を示したものであり、事業者及び施設の具体的内容については、今後事業者が決定した後に明確になると考えますが、事業を進めるにあたっては必要に応じて、関係機関や住民の方との協議も必要と考えています。
14	要援護者の方たちに対応できる福祉避難所を作ってほしい。	1	跡地における具体の整備内容は、今後、事業者が決定した後、具体の整備計画が決まっていく中で明確になると考えています。
15	川崎病院に在宅医療、訪問看護等の充実をお願いしたい。	1	
16	市の土地を使うため地域共生型の全国にも見本になるような病院になってほしい。	1	
17	最上階を死体安置所とすることで病院の暗いイメージを払拭できないか。	1	
18	食事制限のない人用の、少し高級なレストラン等、入院患者が楽しめるものが整備できないか。	1	
19	ボランティア等も活用した院内イベントなど楽しめるものがないか。	1	
20	拠点施設病院へは停電に対応するため2系統の送電を受けるべき。	1	
21	待ち時間の少ない効率の良い病院経営をしてほしい。	1	

No.	意見の概要	件数	本市の考え方
22	岡山大学医学部との連携、医大生の活用を進めてほしい。	1	跡地における具体の整備内容は、今後、事業者が決定した後、具体の整備計画が決まっていく中で明確になると考えています。
23	将来、病院建て替えの時は、同じ場所(素案でのグラウンド側)に建築できるようになっているのか。	1	
24	地域コミュニティの機能を確保するのであれば、そのエリアの運営、管理に市はかかわるべき。	1	
25	地下に大きな駐車場をつくる計画を聞くが、市は駐車場(中心部)の数については充足しているとの見解だが、どのように考えているか。	1	
26	旧深祇小学校の体育館を使用している団体が、代わりに活用できるものが必要。	1	
27	跡地に川崎病院が来た場合は、選挙はどうするのか。	1	旧深祇小学校体育館の使用は、学校開放事業の延長として、当該跡地の活用が決まるまでの暫定的な事業として使用許可をしています。 現在の体育館が残ることは前提としておらず、また、市として代わりとなる施設の整備等の計画もなく、使用団体で近隣の施設を探していただくこととなります。
28	新病院ができるまで今の川崎病院を存続させてほしい。	1	現在、深祇投票区においては、旧深祇小学校体育館を投票所としていますが、今後投票所として使用できない状況となる場合は周辺地域において公共施設さらには民間施設も視野に入れ、代替施設を選定することになると考えています。
29	中心部の小学校統廃合からのわだかまりから、現在も地域の中に不協和音がある。行政にこの不協和音を解消してもらいたい。	1	今回の素案については、跡地の活用方針を示しているもので、川崎学園の利用を前提としたものではありませんが、事業者が決定し具体の整備内容等が示される段階で明確になると考えています。
30	深祇地区のコミュニティの和を崩壊させたのは岡山市政。反省すべき。	1	当該跡地活用にあたっては、地域の中に色々なご意見があることは承知しておりますが、市としては、今回お示した基本方針に沿って、跡地活用を進めていきたいと考えており、ご理解いただけるよう努力したいと考えています。
31	パブリックコメントの用紙は、市民全員に配布し提出しやすい方法をとってほしい。	1	パブリックコメントの募集につきましては、本市のホームページ、広報誌(市民のひろばおかやま)への掲載をはじめ、各区役所・支所・地域センター、天満屋地下街市民サービスコーナーへ配布しました。 募集方法等については、ご意見を参考にさせていただきます。